

会 議 等 結 果 報 告 書

| | | | |
|-----------------------------------|---|------|----------|
| 会議区分 | 会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議 | 文書番号 | |
| | | 決裁期日 | 令和7年9月5日 |
| 名 称 | 令和7年度 第2回安平町町民自治推進委員会（第5期メンバー） | | |
| 日 時 | 令和7年9月5日 午前・ 午後 1時30分～3時15分 | | |
| 場 所 | ENTRANCE | | |
| 出席者 <small>（長職位を除き敬称略）</small> | 委員 8名／12名中、課長以下4名、委員以外の出席者2名 計14名 | | |
| 会議概要 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 開会 委員12名中、8名の出席があり、条例第5条の会議開催条件を満たすことを確認。</p> <p>2. 委員長挨拶</p> <p>3. 議事</p> <p><u>(1) 前回会議の振り返り</u></p> <p><u>(2) 話し合う</u></p> <p>■安平町ブランディング推進事業について ～別添資料にて総務課情報G野村主幹より説明及びグループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「あびらスマートワーク推進プロジェクト」の一環として進められている。 ・子育て・教育の魅力化を柱に人口減少対策に取り組んできたが、働く場所の不足や若年層の転出という構造的課題があるため、このプロジェクトは、子育てと仕事の両立、若年層が働きたいと思える環境の実現、新たな価値創造、認知度向上を目指している。 ・ブランディング事業は大きく2つの取り組みがある。 <ol style="list-style-type: none"> 1. アビライクプロジェクト（町内向け活動） ・「安平が好き」という意味と「安平に行く」をかけた名称で、ロゴにはハートと矢印がデザインされている。 ・「アビライクカード」を配布し、来年のイベント抽選や町内での特典・サービスを受けられる仕組みを導入した。 2. カケル・アビラプロジェクト（新たな価値創造） <ul style="list-style-type: none"> ・安平町の既存の魅力（資産）を掛け合わせることで、新たな魅力を創造する活動（例：菜の花畑×アウトドア、メロン×チーズ）。 ・町にはたくさんの魅力があるため、どれか一つに絞るのではなく、「多様な魅力があること自体を強みとして押し出す」方針である。 <p>【ワークショップでのアイデア出し】 委員に対し、「①何かと何かを組み合わせる新しいものを作るアイデア」と「②アビライクカードで得られる特典・サービスアイデア」の2点のアイデア提供を求めた。</p> <p>①何かと何かを組み合わせる新しいものを作るアイデアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅を活用した地域物産展の開催（東地区、追分地区、早来地区の特色を出す）。 ・雪だるまの国際交流（暖かい地域の学校の子どもたちに雪だるまを送る）。 ・学校の利活用。 </div> | | |

- ・新商品開発（フルーツ大福、チーズメロンパンなど）。
- ・②アビライクカードの特典・サービスアイデアについて
 - ・ポイント還元率を50%に戻す、有効期限の延長
 - ・祭りでの割引、優先招待など、優越感を感じられる特典
 - ・公民館利用料の割引や町民としての証明書として利用

■安平町広報紙の改善について

～別添資料にて総務課情報G中崎主事より説明及びグループワーク

- ・広報誌担当として、「人に着目した広報誌」を目指してきた。
- ・これまでの取り組みとして、親子の写真を掲載する「元気に大きくなる」企画の復活、様々な世代の夢を紹介する「あなたの夢」企画の開始、表紙写真の公募、編集者コラムでの自身の顔出しなど。
- ・阿比羅町の広報誌の種類と特徴
 - ・「広報あびら」：毎月5日発行、カラー、24ページ、特集記事が中心。
 - ・「広報笑顔」：毎月20日発行、モノクロ、12ページ、お知らせ記事が中心。
 - ・月2回の発行は、情報鮮度を保つためである。
 - ・広報紙の課題として、高齢者層には届いているが、若い世代への情報発信が不足している可能性、ホームページ上のPDF版の認知度の低さ、情報量の多さ、毎年同じ記事が掲載されること、紙面デザインの統一性のなさ（部署ごとに作成される記事の文字サイズが不統一であること）があると捉えている。
 - ・広報誌の電子化については、町民や自治会長へのアンケートでは紙媒体を好む意見が多く、慎重に進める必要があるとの認識が示された。

【委員からの意見】

- ・オンライン版は、町外出身者も読んでいます。
- ・今年の広報紙は、内容が変わって良くなった。
- ・文字サイズを揃える必要がある。（記事によって異なる場合があるため）

(3) 令和6年度町民参画の実施状況について

- ・別添資料に基づき説明

【質疑】

A 委員：先日実施された「町民まちづくりアンケート」の状況は？

事務局：現在集計中であるため、判明次第、結果についてこの会議でも取り扱わせていただきたい。

A 委員：誰が出したか特定されるので出さないという人が、周囲にいた。

事務局：特定することはしないし、そもそもできない仕組みとなっている。

4. その他

- ・次回は、2か月後頃を目途に。